

F SPORT PARTS (TRD)

MS349-30000

フロントエアロスパッツ

取付・取扱要領書

この度はF SPORT PARTS (TRD)フロントエアロスパッツをお買い上げ頂きありがとうございます。
本書には上記商品の取付け、取扱い要領について記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

●本商品は未登録車への取付けは出来ません。取付けは車両登録後に行ってください。

■品番・適合車種

品番	適合	型式	年式	備考
MS49-30000	レガシ GS	GRL11/12 GWL10・AWL10	'15. 11 ~	全グレード適合

*開封時に必ず構成部品が揃っていることをご確認ください。

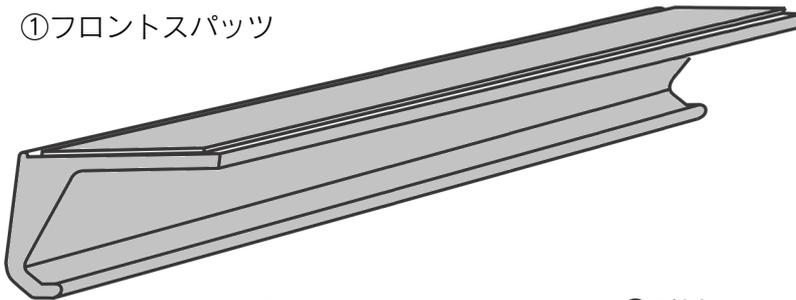
*2WD車と4WD車で加工方法が一部異なります。要領を確認のうえ注意して作業を行なってください。

■構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	フロントスパッツ		1	L=600mm
②	リベット		6	
③	PAC プライマー		1	K-500
④	型紙		1	
⑤	取付・取扱要領書(本書)		1	

■構成部品図

①フロントスパッツ



②リベット



③PAC プライマー



④型紙



⑤取付・取扱要領



■ 取付け・取扱い上の注意

- | | |
|---|---|
| ⚠ | 警告 ：この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行なうと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。 |
| ⚠ | 注意 ：この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行なうと、人が傷害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。 |

*確認・本商品到着後は、構成品が揃っていること損傷等が無いことを確認してください。

- ⚠警告 本商品の取付け作業・部品交換は必ずレクサス販売店にて行なってください。
- ⚠警告 本商品は適合車種以外には使用しないでください。破損や故障により、重大な事故を招く場合があります。
- ⚠警告 取付け作業は、必ず平坦な場所でエンジンを停止し、パーキングブレーキがかかっていることを確認して、行なってください。不安定な場所での作業、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
- ⚠警告 エンジンルーム、マフラーなどの付近で取付け作業を行なう場合は、必ず各部が冷えていることを十分に確認して作業を行ってください。ヤケド等の重大なケガを負う場合があります。
- ⚠警告 車両から外した純正ボルト・ナット等を再使用する場合は、ボルト・ナットのサビや劣化を確認のうえ、損傷のある場合は、必ず新品に交換してください。
- ⚠警告 取付けの際は、必ず指定トルクに従って各ボルト・ナット類を締め付けてください。取付け時に緩みがあると徐々に緩みが発生して、脱落などの重大な事故を招く恐れがあります。
- ⚠警告 取付け後、本商品と車両部品との干渉を確認してください。干渉がある場合は、本商品を購入のレクサス販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となり、重大な事故を招く場合があります。
- ⚠警告 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管や取付け作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
- ⚠警告 急発進・急制動・急旋回などの無理な走行や乱暴な運転は、本商品に過剰な負担をかけ、損傷、故障の原因となるばかりでなく、重大な事故の原因になりますので、絶対におやめください。
- ⚠警告 本商品は基本的に舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は安全な速度で十分に注意のうえ、走行するようお願いします。
- ⚠警告 本商品の装着後に、衝突などの強い衝撃を受けた場合、取付け部分や本体に、変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用を中止して、レクサス販売店にて点検を行ってください。
- ⚠警告 走行中に異音や振動などの異常を感じたら、直ちに安全な場所に停車して、取付けのレクサス販売店にご連絡してください。そのまま走行を続けると、重大な事故の原因となる場合があります。
- ⚠警告 本商品への改造、加工は絶対に行なわないでください。保証が受けられないだけでなく、破損や重大な事故の原因となる場合があります。

- ⚠注意 本商品の取付け、交換に伴う純正部品の脱着作業は該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守って作業を行なってください。
- ⚠注意 本商品を取付けの際に使用する脱脂剤は、必ずホワイトガソリン又は、イソプロピルアルコールを使用し、その他の溶剤は使用しないでください。脱脂不良によりハガレの原因になります。
- ⚠注意 両面テープの接着力を最大限に発揮させるため、貼り付け作業時に取付け部と両面テープを約40℃程度に暖めてから貼り付けてください。低温のまま貼り付けを行うと接着性能が著しく低下します。
- ⚠注意 本商品は未登録車両への取付けは出来ません。必ず車両登録後に取付けを行なってください。
- ⚠注意 取付け作業や、走行にともない、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。上記の注意事項と本書の装着手順を必ずお守りください。

- 本商品は3年・60,000kmの保証を実施いたします。(3年または60,000km走行時点のいずれか早い方まで)
 ※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>「保証について」をご覧ください。
- 不具合が発生した場合は、お買い上げいただいたレクサス販売店へご連絡をお願いいたします。

■フロントエアロスパッツの取付け要領

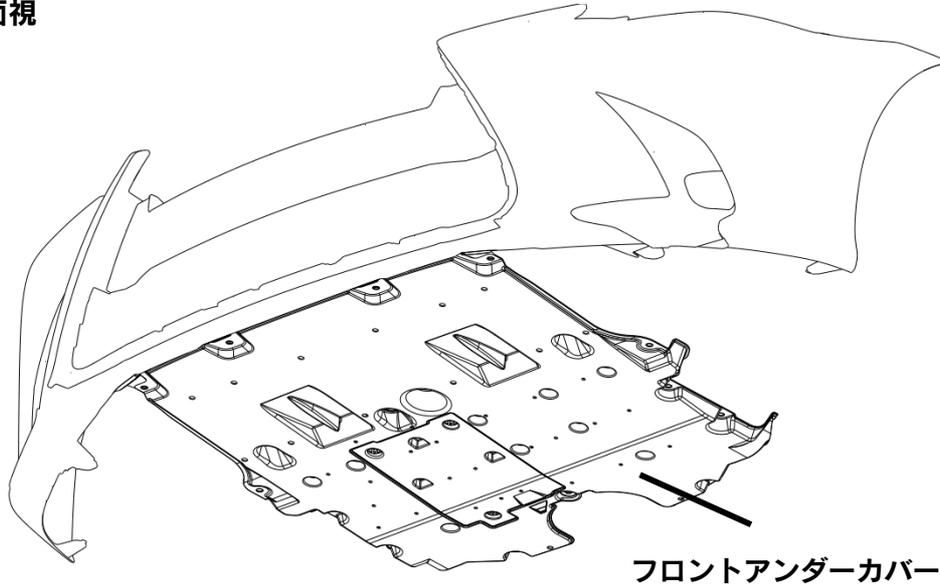
※注意 該当車両の修理書(トヨタ自動車株発行)に従い、本書の注意事項をまもって作業してください。

◎取付け加工は2WD車と4WD車で作業が異なります。4WD車は6ページにお進みください。

□フロントスパッツの取付け(2WD車)

(1) 該当車両の修理書(トヨタ自動車株発行)に従い、フロントアンダーカバーを取外す。

図1 車両下面視

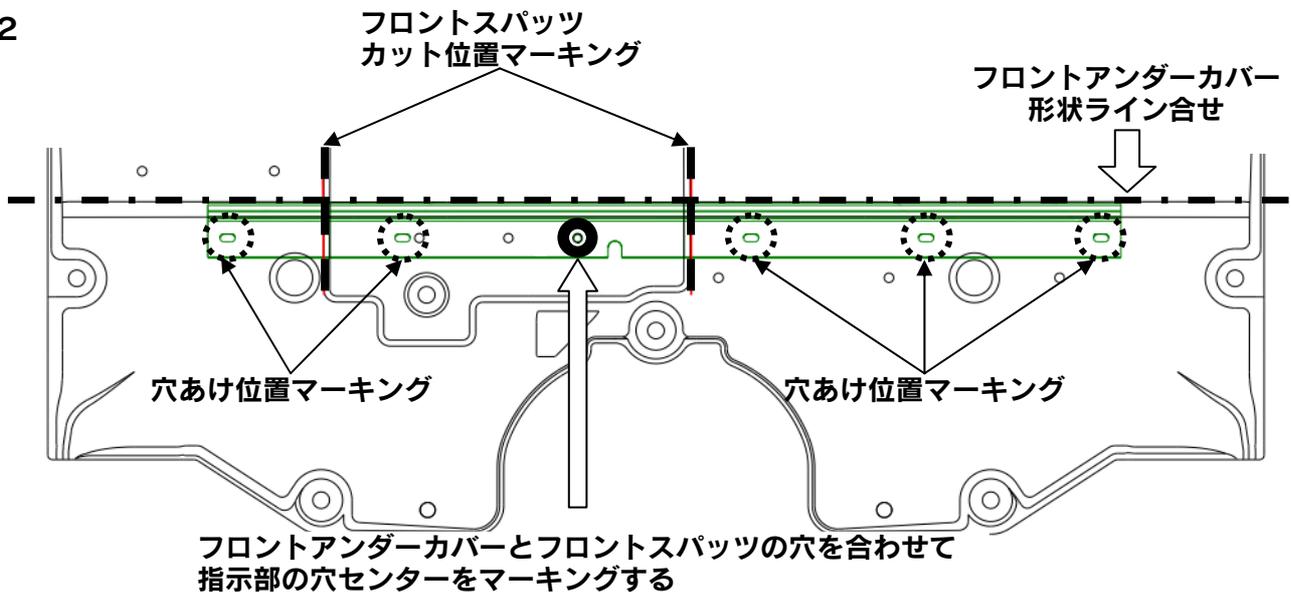


⚠ 注意：フロントアンダーカバー脱着に伴う車両部品は再使用しますので紛失しないように必ず保管してください。

(2) 図2のように、①フロントスパッツを指示部の穴を基準に合わせて、取外したフロントアンダーカバーに穴あけ位置をケガキ針等でマーキングする。

(3) 図2のように、サービスホールカバーに合わせた位置で①フロントスパッツのカットラインをマーカーペン等でマーキングする。

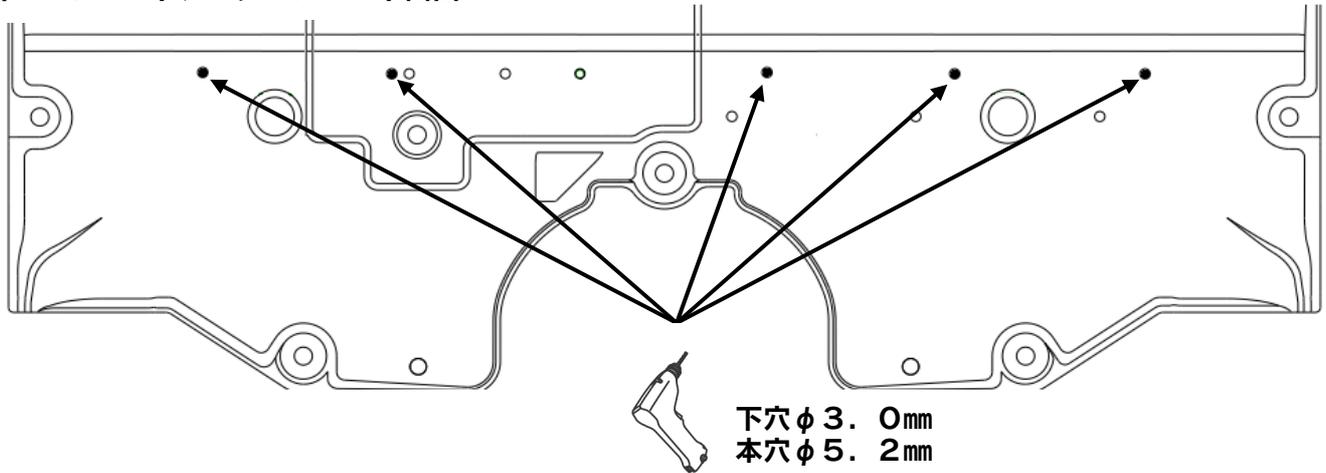
図2



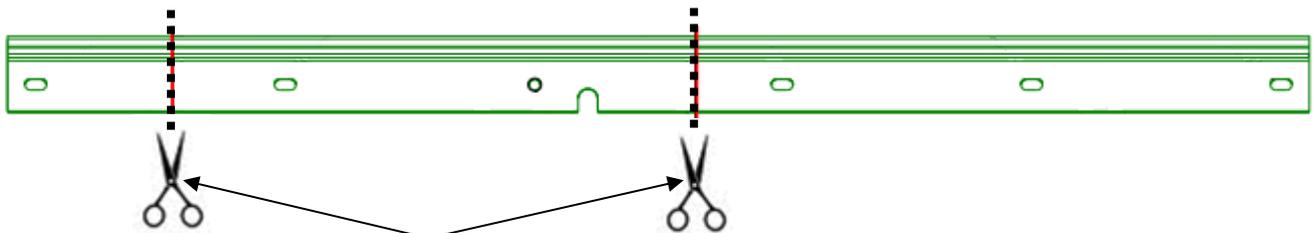
(4) 図3のように、フロントアンダーカバーのマーキング位置に穴あけ加工を行う。 【5箇所】
下穴φ3.0mm 本穴φ5.5mm

(5) 図3のように、①フロントスパッツのマーキング位置をカット加工を行う。 【2箇所】

図3 フロントアンダーカバー下面図



フロントスパッツ図

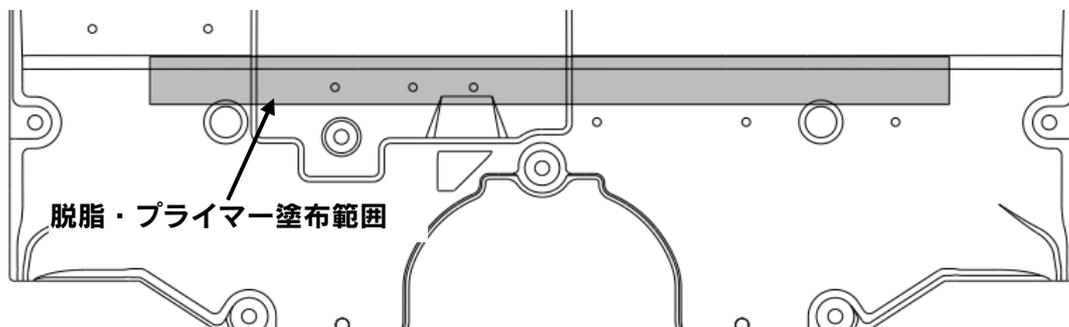


マーキング位置でカットする

⚠ 注意：穴あけ加工・カット加工時は、必ず保護具を着用してケガに十分注意して行ってください。

(6) 図4のように、フロントアンダーカバー①フロントスパッツ取付け部の汚れを十分に取り除き、ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（以下IPAという）で一方向にふいて脱脂を行い、③PACプライマーK-500を塗布する。

図4



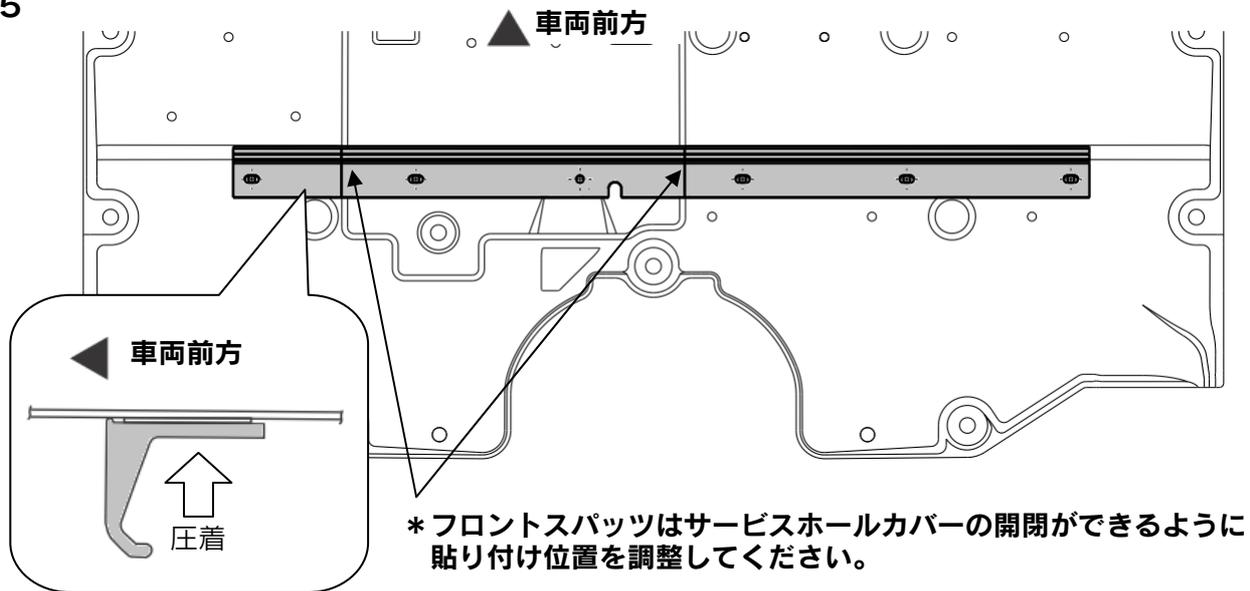
⚠ 注意：脱脂の際は、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂が残り両面テープが剥がれる原因になります。

アドバイス：プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。乾燥中はホコリや油脂がつかないように十分に注意してください。

(7) 図5のように、フロントアンダーカバーにあけた穴に①フロントスパッツをあわせてサービスホールカバー部に位置ズレが無いを確認し両面テープの離型紙を剥がしながら貼付け圧着する。

{49N (5kgf) 以上}

図5

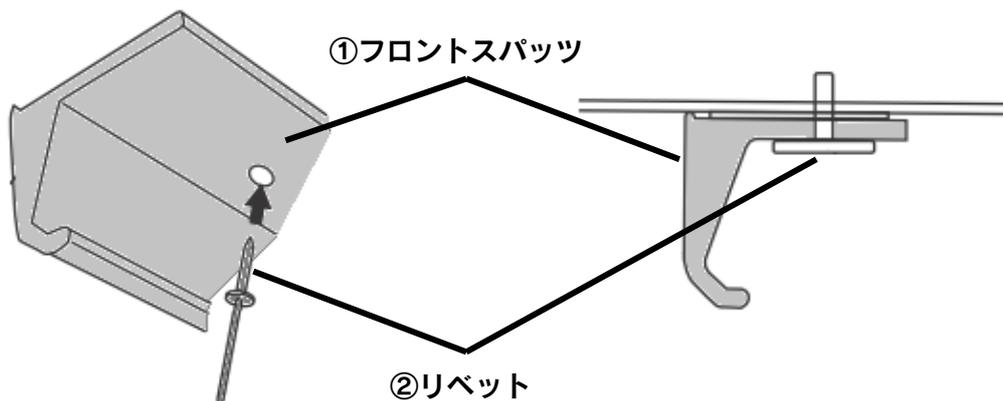


⚠ 注意：両面テープの貼り付けの際は、貼り付け部及び、両面テープを約40℃程度に暖めてから貼り付けてください。低温（20℃以下）のまま貼り付けるとハガレ・ウキの原因になります。

両面テープの貼り付けは、圧着ムラのない様に均等に圧着してください。
圧着が不十分な場合、ハガレ・ウキの原因になります。

(8) 図6のように、フロントアンダーカバーに貼り付けた①フロントスパッツの穴に②リベットを使用して固定する。 【6箇所】

図6



(9) 該当車両の修理書に従い、フロントアンダーカバーを車両に組み付けて復元する。

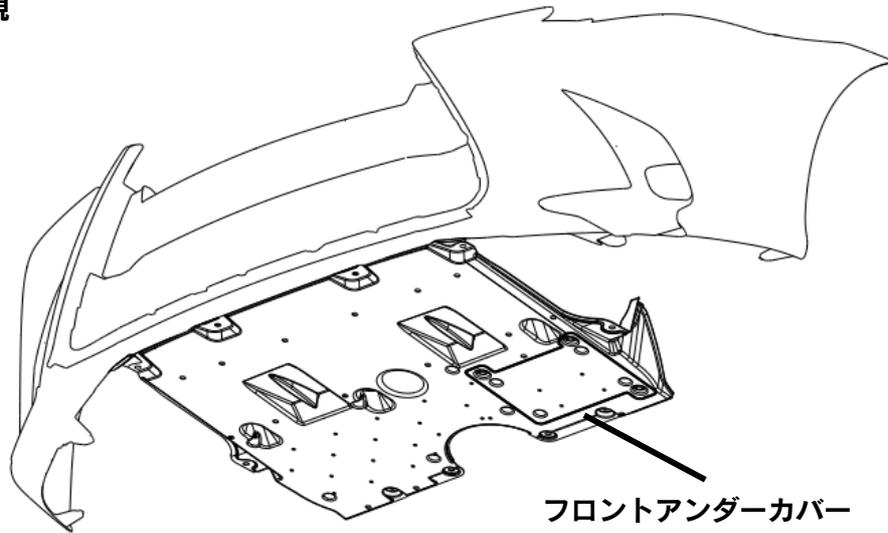
■取付け完了後の確認・点検

- ・取付け後、数キロの試走行を行い異音等が無いことを確認する。
- ・フロントエアロスパッツをリベットにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
- ・車両部品に傷を付けていないか点検する。

□フロントスパッツの取付け（4WD車）

（1）該当車両の修理書（トヨタ自動車(株)発行）に従い、フロントアンダーカバーを取外す。

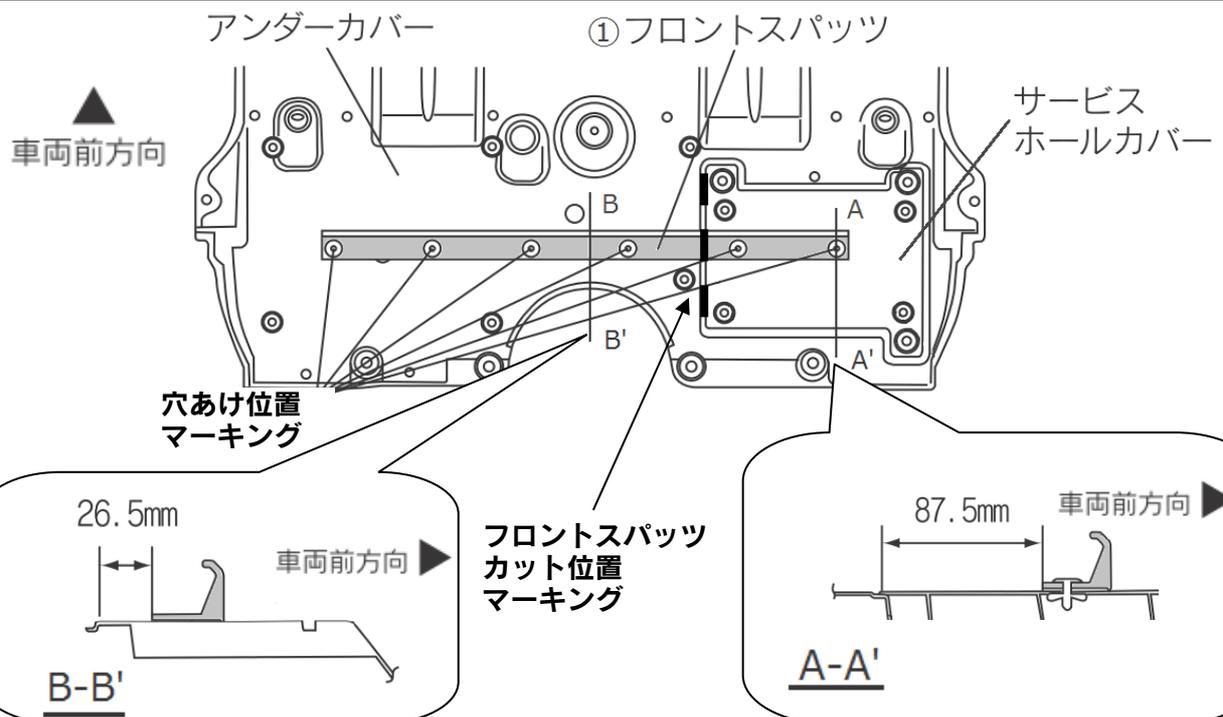
図7 車両下面視



⚠ 注意：フロントアンダーカバー脱着に伴う車両部品は再使用しますので紛失しないように必ず保管してください。

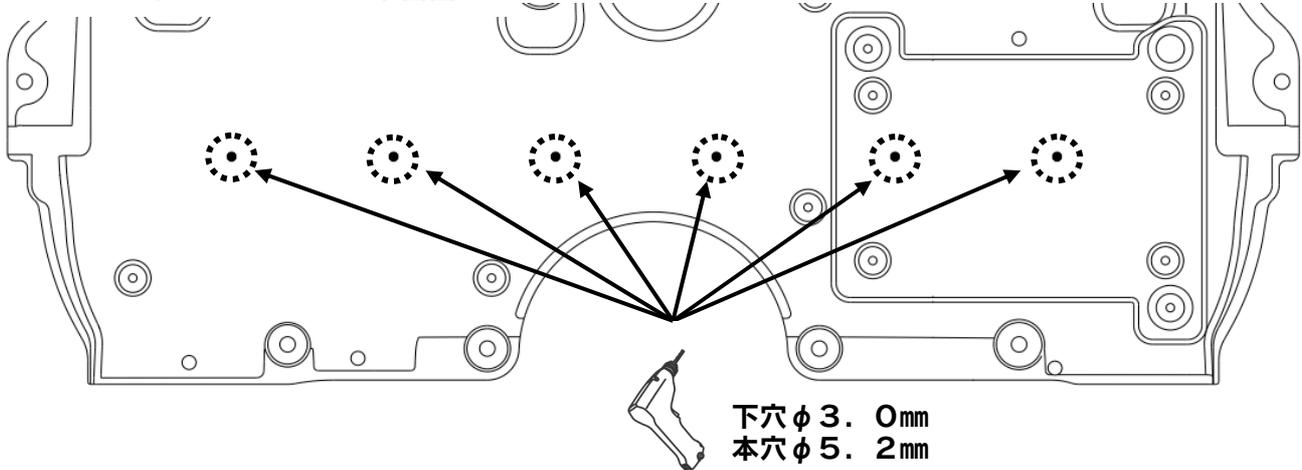
- （2）図8のように、フロントアンダーカバーに①フロントスパッツを中央に合わせ、指示部A-A' B-B' の寸法に合わせて穴あけ位置をケガキ針等でマーキングする。【6箇所】
- （3）図8のように、①フロントスパッツを指示部A-A' B-B' に合わせた位置でサービスホールカバー端部を基準に①フロントスパッツのカットラインをマーカーペン等でマーキングする。【1箇所】

図8

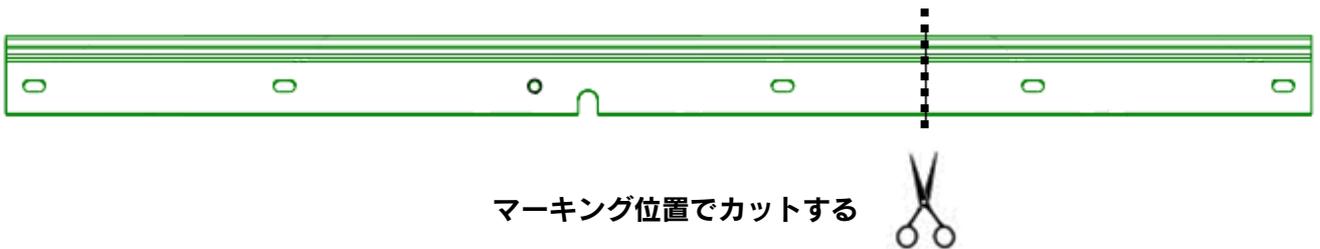


- (4) 図9のように、フロントアンダーカバーのマーキング位置に穴あけ加工を行う。 【6箇所】
下穴φ3.0mm 本穴φ5.5mm
- (5) 図3のように、①フロントスパッツのマーキング位置をカット加工を行う。 【1箇所】

図9 フロントアンダーカバー下面図



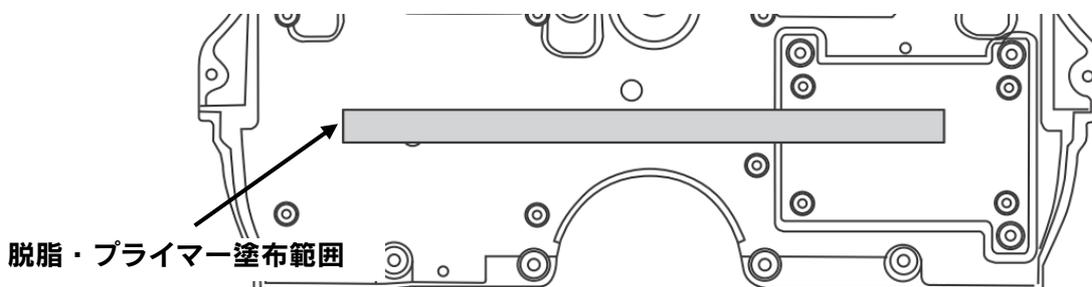
フロントスパッツ図



⚠ 注意：穴あけ加工・カット加工時は、必ず保護具を着用してケガに十分注意して行ってください。

- (6) 図4のように、フロントアンダーカバー①フロントスパッツ取付け部の汚れを十分に取り除き、ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（以下 IPA という）で一方向にふいて脱脂を行い、③PACプライマーK-500を塗布する。

図10

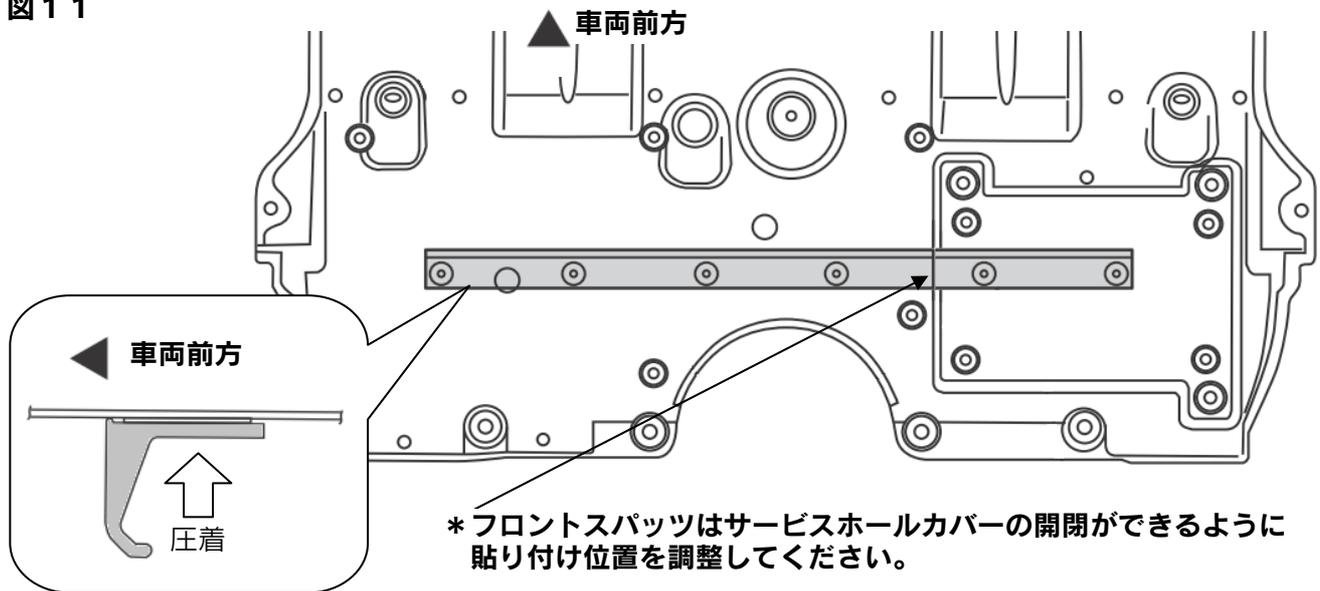


⚠ 注意：脱脂の際は、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂が残り両面テープが剥がれる原因になります。
アドバイス：プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。乾燥中はホコリや油脂がつかないように十分に注意してください。

(7) 図11のように、フロントアンダーカバーにあけた穴に①フロントスパッツをあわせてサービスホールカバー部に位置ズレが無いことを確認し両面テープの離型紙を剥がしながら貼付け圧着する。

{49N (5kgf) 以上}

図11

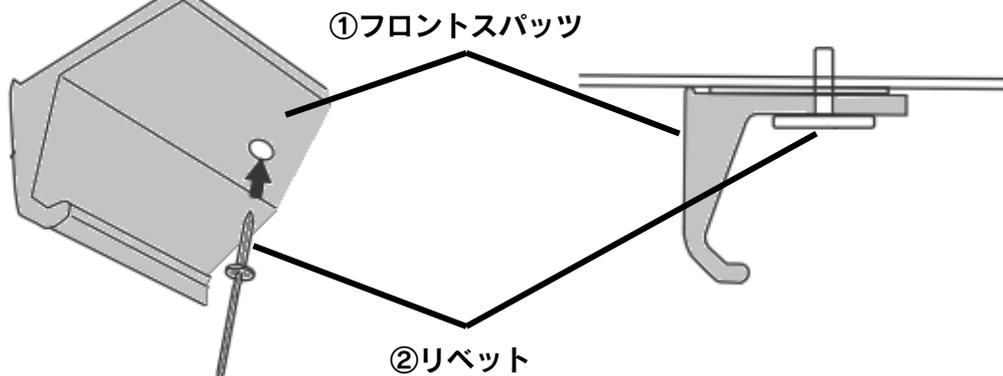


⚠ 注意：両面テープの貼り付けの際は、貼り付け部及び、両面テープを約40℃程度に暖めてから貼り付けてください。低温（20℃以下）のまま貼り付けるとハガレ・ウキの原因になります。

両面テープの貼り付けは、圧着ムラのない様に均等に圧着してください。
圧着が不十分な場合、ハガレ・ウキの原因になります。

(8) 図6のように、フロントアンダーカバーに貼り付けた①フロントスパッツの穴に②リベットを使用して固定する。 【6箇所】

図6



(9) 該当車両の修理書に従い、フロントアンダーカバーを車両に組み付けて復元する。

■取付け完了後の確認・点検

- ・取付け後、数キロの試走行を行い異音等が無いことを確認する。
- ・フロントエアロスパッツをリベットにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
- ・車両部品に傷を付けていないか点検する。